

特別な支援を必要とする子供への支援

小学校特別支援学級への支援

江戸川区立松江図書館 編

実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学生 1～6年生、
2	実施時期 : 通年 毎月1回 (第3水曜日の午前)
3	概要 : 小学校特別支援学級(1～2年生合同クラス、3～4年生合同クラス、5～6年生合同クラス)の児童が、学校外での社会経験を増やし、図書館・読書に親しんでもらうため、読み聞かせと、図書館利用訓練を行う。
4	内容 ① 小学校特別支援学級の児童が、先生に引率されて来館する。(各クラス児童 25名程度) ② (毎月、第3水曜日の午前中は、乳幼児向け読み聞かせ会を開いており、その読み聞かせ会が終了したのち) 同じ会場を使って、小学校特別支援学級の1～4年生の児童に読み聞かせを行う。(約30分) ③ 読み聞かせの後、図書館 児童室で、各自、自由に読書を行う。(約30分) (その間、図書館職員が児童の質問に答えるなど、読書の手助けをします) ④ 館内での読書が終わったのち、一人ずつ、好きな本を数冊ずつ、団体貸出をする。 ⑤ 図書館前ロビーに児童は整列し、貸出した本をコンテナに入れて、先生の引率で児童とともに学校へ帰ります。 ⑥ 5～6年生は、6月に図書館利用の学習を図書館で行い、その後、毎月1回程度児童が揃って来館し、館内で読書を楽しみ、数冊ずつ本を選び、団体貸出を受けて、学校で読書を楽しみます。
5	参加者の反応 ・特別支援学級1～2年生クラスの先生から相談されたことが基となって、始めた事業ではあるが、先生方から好評で、区内の小学校で読書科の設置に伴い、全学年で利用したいと依頼があり、参加するようになった。 ・児童室で本を読む児童の顔が生き生きとして、嬉しそうに見える。 ・支援学級に通う児童を、数人、図書館で見かけるようになった。
6	連携した諸機関 ・近隣 小学校